

平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立揖屋小学校）

令和元年9月 日

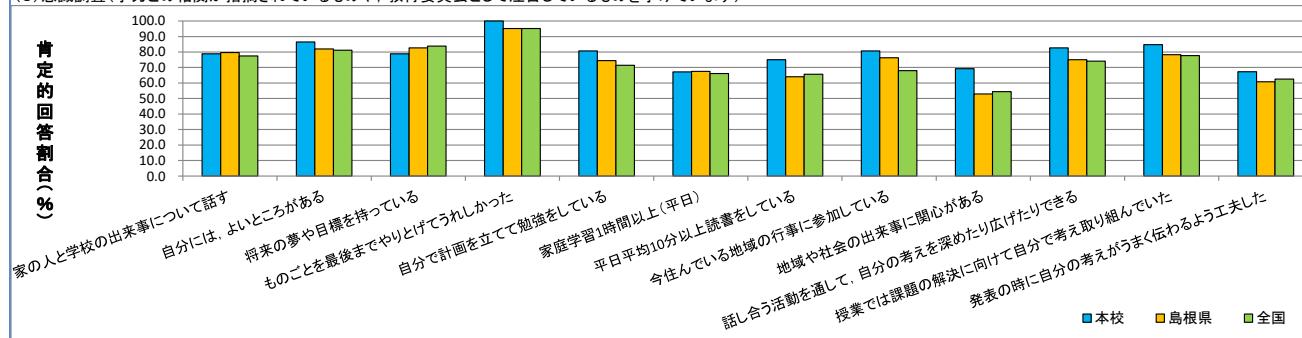
(1)学力調査結果から見られた傾向

成果と課題(○:成果、●:課題)		対策
国語	○文章に対する自分の思いを記述することが得意である。	・ただ文章を読むのではなく、問われていることなどを意識もって文章を読む経験を積む。
	○文章の大筋を理解することができる。	・同音異義語などを意識した漢字練習を行う。
	●文章の要点をまとめる力が弱い。	
	●同音異義語の漢字の書き取りが苦手である。	
算数	○ひき算やわり算を工夫して計算する方法を理解している。	
	●棒グラフから必要な情報を活用して、課題を解決することが苦手である。	・データの活用の単元において、これまでに習ったグラフや割合の理解を深めながら、新たに習う度数分布表や柱状グラフについて学習していく。

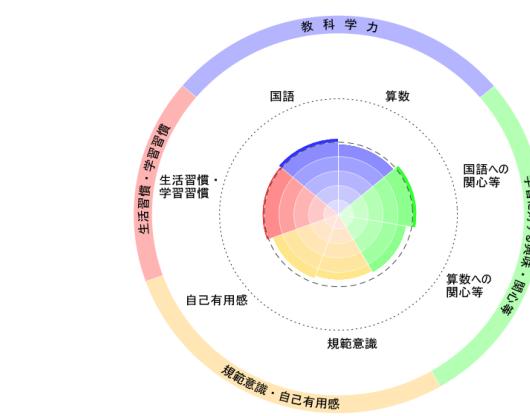
(2)生活意識調査から見られた傾向

成果と課題(○:成果、●:課題)		対策
○自分で計画を立てて家庭学習に取り組む児童が増えている。		・自主学習を中心に、自分で考え主体的に取り組む家庭学習を目指す。
○学校に行くのが楽しいと思っている児童が多い。		・自主学習を通して、学び方を習得し、学ぶ楽しさを感じさせていく。
●家庭学習の時間が全体的に少なく、個人差も大きい。		・お互いに自主学習の仕方や成果を伝え合う場面を設ける。
●国語が好きと答える児童が多いが、算数に関しては、大切だと思うが好きではないと答える児童が多い。		・算数において、児童が解いてみたい、確かめてみたいと思う課題に出会わせ、子どもの学習意欲を高める。また、仲間と共に考え、難しかったけど頑張ってよかつた、わかったと喜びを味わえる授業を目指す。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・子どもが主体的に学ぶための授業改善  
子どもの発言、つぶやきを生かした授業の展開  
子どもが問い合わせを見出す問題提示  
ペアやグループなどによる協働的な学習の推進  
学びを深めるための教師の問い合わせ
- ・家庭学習の充実  
自主学習による学び方の習得  
学びをプランニングする力の育成

【参考】

○平均正答率

	本校	松江市	島根県	全国
国語	66	63	62	63.8
算数	65	66	65	66.6

受検者数  
51人  
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示して下さい。